

実施報告書【学校課題実践校用】

学校番号	39
学校名	富山県立となみ野高等学校

学校の現状と課題		・本校で学ぶ生徒は、不登校の経験や家庭環境等における悩みや困難を抱えていたり、全日制高校からやむなく進路変更したりした生徒など、その実態は多様化している。定時制で学ぶことは、教科、科目の履修と単位取得が学校生活の基軸となっているが、ホームルーム活動や学校行事はその準備の時間も限定されるため、必ずしもバリエーション豊かなものとなっていないのが現状である。 また、本校の生徒は卒業後、地元に残って生活する割合が高く、地域振興の役割を担うことが期待されるが、これまでに地域振興にねらいを絞った教育活動は多くはなかった。 これらの現状に対し、生徒の目線に立った講師の招聘や地元で活躍する人材や集団の招聘、ワークショップ等の実施を通してより意欲的に参加できるホームルーム活動の充実を図りたい。こうした学びの場を活用し、自己理解や人との関わりを学ぶ機会を設けたい。
テーマ(特色)		・生徒が意欲的に参加できるホームルーム活動等の充実を図る。
設定した「テーマ」の達成状況		・デザイン事務所やフリーアナウンサー、演奏者、写真家などの専門的な技術や知見を有する講師、とりわけ若者の支持を集める講師等を招聘し、講話やワークショップを開催し、生徒が意欲的に参加できるホームルーム活動を行った。また、地域とのつながり、地域振興の役割を担うことにつなげる活動として、地元の魅力発信や食文化研究者を招き、講演、体験学習を実施した。生徒は校内で一人一人が意欲的に参加し楽しめる活動を経験し、学校生活を充実させるとともに、自己理解、他者との関わりを学ぶことができた。
実施内容 (具体的に記入する)		①下記の種々のホームルーム活動を実施した。 富山の魅力、遊び場の発信インフルエンサーの講演、ドローンを活用した映像製作、操縦専門家の講演、食文化研究家の講話と体験教室、フォトグラファーによる講話と魅力ある写真の撮影体験、デザイン書道家による揮毫と映えスポット作成、ロゴデザイン作成、絵本読み聞かせとギター演奏、フリーアナウンサーによる話し方講座 ②生徒会役員、希望者対象のリーダー研修会として下記の研修会を実施した。 博物館職員による講話とイベント案企画ワークショップ、相互評価活動
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)		生徒の目線に立った講師を招聘し、講話やワークショップ等の学びの経験を通し、生徒は学校生活での意欲的な活動を経験できた。また、体験活動、ワークショップ等の他と関わる活動を通して、自己理解と他者との関わりを学ぶことができた。
対象者(学年・人数など)		本校全生徒約130名
実施実績	4月	年間計画作成
	5月	ホームルーム活動の実施(各年次、前期2回)
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	ホームルーム活動の実施(各年次、後期2回)
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	活動のまとめ、効果検証
	3月	